

3号機厳格審査

規制委に求める

申請不備で平井知事

鳥取県の平井伸治知事が13日の定例会見で、中国電力島根原発3号機（松江市鹿島町片匂）が原発の新規制基準に適合しているかの審査で原子力規制委員会が申請内容の不備を指摘したことに関し、規制委に厳格な審査を改めて求めた。

規制委は4日の第1回審査会合で、中電が申請書に自然災害対策の一部を記載していないことから不備を指摘。修正するまで審査できないとの見解を示した。

平井知事は「われわれは見守るしかない」と述べ、

「規制委は安全第一主義で厳格な審査をしてもらいたい」と要望した。

米子、境港両市と立ち上げた検証チームで安全対策などを検証する一方、容認した申請の内容に不備があったことに関しては「自身の検証は規制委の審査後に先送りしている。検証チームが『大丈夫だ』と送り出したわけでは全然ない」と説明。検証チームは「素人の集まり」と述べ、「一流の専門家を集めている（規制委の）審査が決定的に重要だ」と強調し、審査の行方を注視する考えを示した。

（原田准史）

2018.9.14 日本経済新聞